

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第3回相模原市令和元年東日本(第19号)台風災害義援金配分委員会		
事務局 (担当課)		健康福祉局 福祉部 地域福祉課 電話 042-851-3170(直通)		
開催日時		令和2年3月27日(金)午後1時30分~午後2時30分		
開催場所		相模原市役所本館2階 議会第2応接室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	6人(福祉部長他5人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)現在の状況報告 (2)神奈川県災害義援金の配分について (3)相模原市災害義援金の配分について (4)その他 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の把握について 			

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局等の発言)

議 題

(1) 現在の状況報告

事務局より、令和元年東日本(第19号)台風による現在の被害状況について、報告を行った。

(2) 神奈川県災害義援金の配分について

事務局より、神奈川県災害義援金の配分案が示された。

神奈川県からの義援金の配分については、配分案のとおり配分をすることによって決定してよろしいか。

異議なし。

(3) 相模原市災害義援金の配分について

事務局より、相模原市災害義援金の配分案が示された。

宅地被害や農地被害の把握は誰かが現場を見に行ってしまうということか。

相模湖地区社協で広く実態を把握していることもあり、今回の資料にはその概数を掲載している。状況把握の方法は非住家被害や農業被害は罹災証明書の申請状況や経済部からの情報提供を基に配分の手続きを進めていきたい。長期避難については、緑区で実施している訪問調査で概ね把握ができていたので追加があれば随時情報を更新していく。宅地被害については既に修繕をしてしまった場合に把握が困難だが、自治会長や民生委員、市職員が現場を確認し配分の要否を決めていきたい。

様々な媒体を使って、地域の隅々まで情報が行き渡るように申請を促したい。

他の市では、罹災証明書以外のことでは実態の把握がしづらいため、神奈川県と同様の配分対象としている自治体がほとんどである。本市としては、より少しでも被害を受けられた方には義援金を受け取っていただけるよう、地域の皆様のご協力を賜りながら、配分を行っていきたい。

義援金の配分について、市に異議は出ているか。

今のところはない。

宅地内に土砂が入ってきた被災世帯は被害届を出さないことが考えられるので、配分対象とする案はとても良いと考える。被害状況については、ボランティアセンターで把握しているので情報提供ができると思う。

被害があったと報告があれば、配分をするということか。

そのとおり。

大沢地区や城山地区では罹災証明書を取得せず、ご自身で家屋を修繕してしまっただ世帯もあると聞いている。

留保する約900万円は金額的に大きいと感じるが、今回の配分後に残った場合はどのように取り扱うのか。

原則、被災者の方に全額配分する予定である。

自治会、民生委員への協力依頼は、今回の会議をもって依頼をするということか。

後日、各団体の会議の場でご依頼をさせていただきたいと考えている。

被害調査を行う人によって、基準が曖昧になる可能性があるのではないか。

訪問する方によって対応に個人差が出ないように、マニュアル等を作成し、案内をしていきたい。

客観的に見て、明らかに義援金を受け取るべきだと判断できる世帯を見出せるような体制にしていきたい。

自治会、民生委員等地域の皆様のご意見を伺いながら、手続を進めたい。

相模原市災害義援金の配分については、配分案のとおり配分をするということ決定してよろしいか。

異議なし。

(4) その他

対象者の把握については、皆様のご協力を賜りたいと考えている。本日協議いただいた義援金の配分案については、協議内容を踏まえて決定し、被災された方々へ早期に配分を行う予定である。次回の配分についても、皆様からのご意見を参考に検討していきたい。

次回開催日は、令和2年5月下旬以降に開催する予定。開催場所等については、後日調整することとした。

以上

相模原市令和元年東日本(第19号)台風災害義援金配分委員会委員名簿

	氏 名	団体名・職業 等	備 考	出欠席
1	坂本 堯則	相模原市自治会連合会		出席
2	戸塚 英明	相模原市社会福祉協議会		出席
3	今井 俊昭	相模原市地区社会福祉協議会		出席
4	大貫 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
5	小野 敏明	特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 田園調布学園大学名誉教授		出席
6	谷口 優子	弁護士		出席
7	野村 隆	公認会計士		出席
8	小林 和明	相模原市健康福祉局長	会 長	出席